

令和５年度 第１回安全安心なまち部会

日時：令和５年１０月２６日

場所：浪速区役所 ７階会議室

○柴川企画調整担当課長

皆さんおそろいようですので、始めさせていただきます。

それでは、ただいまから、令和５年度第１回の浪速区区政会議 安全安心なまち部会を始めさせていただきます。

私は、本日、司会を務めさせていただきます、企画調整担当課長の柴川でございます。

早速始めさせていただきます。本日の安全安心なまち部会は、防災、防犯、まちづくりなどに関することをテーマにいたしまして、活発な意見交換の場として開催するものでございます。いただきました御意見等は、部会として、この後開催されます本会議に報告をしていただきます。

本日は、当部会委員９名のうち、現在７名の方、御出席となつてございます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第７条第５項の規定によりまして、本日の部会の成立をここに御報告をいたします。

当部会につきましても、区政会議と同様、会議終了後議事録を作成いたしまして、ホームページ等で公開することといたしますので、本日の会議におきましても録音させていただくとともに、会議風景を撮影させていただきますので、御了承のほうよろしく願いいたします。

それでは議事に入りたいと思います。

まず、部会における「部会長・副部会長の選任」そこまで、私のほうで進行役を務めさせていただきます。

では、部会長とその補佐役としての副部会長を互選によりお決めいただきますけれども、まず、部会長についてどなたか御推薦ございますでしょうか。

柏村委員、どうぞ。

○柏村委員

公募委員の交野委員を推薦したいと思います。いかがでしょうか。

○柴川企画調整担当課長

ただいま交野委員の御推薦頂戴をいたしました。皆様、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○柴川企画調整担当課長

異議なしということでよろしいでしょうか。

それでは、交野委員に部会長のほうお願いいたします。

引き続き、副部会長の互選を行いますけれども、どなたか御推薦等ございますでしょうか。

○交野部会長

副部会長には、高橋委員をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○柴川企画調整担当課長

特に御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○柴川企画調整担当課長

それでは、高橋委員に副部会長をお願いしたいと思います。

それでは、交野委員、高橋委員、部会長席、副部会長席のほうにお移りください。

○柴川企画調整担当課長

では、改めまして、ここからの議事の進行は、交野部会長のほうをお願いしたいと存じます。

交野部会長、どうぞよろしくをお願いいたします。

○交野部会長

ただいま、皆様の御推薦によりまして、部会長の職につくこととなりました交野と申します。これからは、皆様の御協力をいただき、私のほうで議事を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

また、発言の前には、委員のお名前を名乗ってから、発言のほうよろしくお願いいたします。

それでは、議題2の1つ目のテーマについて、まず区役所のほうから説明をしてもらい、その後、約15分程度の意見交換を進めていきたいと思います。

皆様の積極的な御意見を是非とも賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは、議題2の1つ目のテーマについて、区役所のほうから説明をよろしくお願いいたします。

○柴川企画調整担当課長

資料10を御覧ください。それと、関連いたします資料といたしまして、その次のページに前回の事前説明会のときに、意見を書いていただいたものにつきまして、ひとまず区役所のほうで回答案を作っております。この2つを見ながらということになります。

1つ目の議題でございますけども、市民協働課長のほうから、説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○松原市民協働課長

市民協働課長の松原と申します。よろしくお願いいたします。

資料10の番号1のところを御覧ください。

本日、御意見をいただきたいことといたしまして、「安全安心で住みやすいまちづくりについて」ということで、防災に関することでございます。

先日の事前説明会の折にも、防災訓練等につきまして、御意見をいただいたところではございますけれども、改めまして、本日御意見をいただきたいということで、テーマに上げさせていただいたものです。

事業内容といたしましては、これまでも各地域で避難所開設運営訓練を、自主防災組織というその地域で組織いただいている皆様と区役所が一緒になって訓練を行っておりますけれども、こちらの避難所が開設された際、地域にお住まいの皆さんが訓練に参加いただくことが可能となっております。

そうした訓練参加者の方には、大体の避難所のところでは防災講座を実施したり、消防署の協力によりまして、煙テントであったり、水消火器の体験をいただいたり、あるいは応急手当の講習も体験をいただけるようにしております。

ただ、まだまだ一般の訓練参加者の方が参加いただけていない状況もございますので、いかに訓練参加者を増やしていくかということを課題と考えておりまして、今回、委員の皆様方に御意見をいただきたい内容といたしまして、避難所開設運営訓練は、もともと自主防災組織の皆様方と区役所が一緒に行うものということもございますので、例えば、訓練の周知方法につきましてどういうふうにしたらいいのか、あるいは、一般の参加者の皆様が参加したいと思うような訓練はどういった内容があるかといったところにつきまして、区役所としてできることであればこんなことじゃないか、併せまして自主防災組織の地域の皆様方のほうでもできることがあるのではないかとといったところにつきまして、本日、御意見をいただければということで考えております。

後ろにつけております後日いただきました意見の中でも、1番のところで、三羽委員の方から、勉強会でも御意見いただいてたんですけれども、学校が導入してるミマモルメというアプリを活用して、保護者の方に配信する。配信をすると直接保護者の方が見て、参加者がもっと増えるのではないかとといった御意見でございましたり、武守委員の方からは、訓練というのはもともとイベントではないですけれども、例えば、消防署とか警察などと連携して、パトカーや消防広報車に乗ることなど、内容にちょっとしたプラスをすると参加者が増えるのではといった御意見をいただいたところで

す。

ミマモルメにつきましては、活用について検討してまいりたいと考えておりまして、

実際日本橋小中一貫校とは、既に調整に入らせていただいているところでございます。

防災意識の向上のためということで、やはり子育て世代の若い皆様方にも御参加いただきたいというところでありますと、例えば、消防署の御協力をいただいて小さい子どもさんが乗車できるようなミニ消防車を活用するなどといった地域の方でこういうことができないかというアイデアを出されて、取り組まれる地域もございます。

今後も、こうした幅広い世代の方が訓練に参加して、防災に関心を持っていただけるように、自主防災組織の皆様とともに、考えてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○交野部会長

ありがとうございました。それではただいまのテーマに沿って意見交換を進めたいと思います。

御意見のある方は委員のお名前を言っていただいて、意見を言っていただくということですのでよろしくお願いいたします。

御意見のある方、挙手でお願いいたします。

○高橋副部会長

資料10の横開きの表の一番右側にあります、安心安全で住みやすいまちづくりの御意見いただきたい内容の中の米印が2つありますけども、こちらについて、何かご意見ありますか。

○武守委員

じゃあ私のほうから。武守です。

先日ケーブルテレビ見てましたら、いろんな区のいろんなイベントごとやってたんですけれども、例えば、昨日、おとといぐらいに見たのは西区のイベント、防災と運動会が一緒になってるイベントをされてたので、防災訓練だけやると参加しにくいので、何かと組み合わせて、例えば今の運動会であるとか、もしくはお祭り、区民まつ

りと一緒にやるとか、何かと一緒にやれば、もっと参加される方が増えるんじゃないかなと思います。

多分、今ケーブルテレビで再放送やってるので、きっと浪速区にお住まいの方で、ケーブルテレビに入っておられる方は、御覧になれるんじゃないかなと思うので、何かと一緒に組み合わせてはどうかなと思います。

○交野部会長

はい、ありがとうございます。

他に御意見ございせんでしょうか。

○高橋副部会長

これミマモルメって、三羽委員のほうから資料出てますけども、浪速区の学校が全て導入してるんですか。

○三羽委員

そうじゃないと思いますね、多分。

○高橋副部会長

そうじゃない。

○三羽委員

導入してないところもありますよね。

○柏村委員

市全体でやってます。

○高橋副部会長

大阪市が全体でやってるの。幼稚園、小学校、中学校。

○柏村委員

小学校だけですね。僕が知ってるのは小学校だけです。中学校と幼稚園は把握してないです。

○三羽委員

中学校はないんじゃないですかね。小学校だけやったと思いますので。

○高橋副部長

ミマモルメというアプリを活用してと書いてるじゃないですか、どのようなアプリですか。

○柏村委員

学校と保護者をつなげるものでして。学校からの連絡とか。

○三羽委員

例えば、遅刻する、通院する。コロナ禍では体温とか出してたでしょ。あれを全部できる内容です。遅刻するんやったら理由、通院するんやったら通院する理由。

要は先生に、保護者が休みますとか連絡入れるでしょ。それが電話連絡しないですむように。

○高橋副部長

よく似たツールって何ですか。

○武守委員

連絡帳ですね。

先生から保護者にとか、保護者から先生に。

○高橋副部長

先生から保護者やったら一斉にどんと行くということですか。

保護者が学校にどんといったら、それはそれ1人が。

○武守委員

それはそうですね、連絡帳なので、担任の先生が御覧になるやつですね。

小学校の生徒さんがいらっしゃる親御さんは、必ずそれで連絡取っておられる。

小学校行ってる親御さんは、みんなそれは何かしら毎日御覧になると思いますね。

○高橋副部長

ここ最近ですよ、でもね。もう3年、4年ですか。

○三羽委員

ここ1年ぐらいですね。

○武守委員

小学生の親御さんとか、小学生が参加されるには、ミマモルメが一番早い。プリントよりは皆見ると思います。何かいろんなプリント持って帰ってはくるんですけど、親御さんにしては、御覧になる方、御覧にならない方、いろいろあると思うので、いろんなイベントごとのチラシも入ってきます。家のポストに入ってくるようなものの中にはあります。

○交野部会長

学校行事もそれで配信される。

○武守委員

連絡帳ですからね。

○三羽委員

一応は休みとか遅刻の連絡をメインにしてるんですけど、また例えばこうやって、防災のものを流してほしいとかいうのも全然決まってないんですよ。だから、どこまでやってええか悪いかいうのは、多分、まだ決まっていないと思います。

○高橋副部会長

始まりは登下校ですね。

○三羽委員

それを、僕ら、一貫校ですけどね。こういう案内出してほしいとか、ホームページだけやったら分からへんからこういう情報を出してほしいとかいうのを今言うってやってるところです。これも含めて。

学校側はそのどこまでをどう出してええんかも多分まだ決まってないと思います。

○松原市民協働課長

一応一貫校の副校長とお話しさせていただいたら、全くできませんということ

はなかったので、多分大丈夫だろうというふうな反応ですし、別の小学校に防災訓練で学校を使わせていただきたいとお話をしたときに、逆に先生のほうから、もう周知の場合はミマホルメ使ったらええやんかっておっしゃっていただいた学校さんもございまして、そういうふうに学校さんによって反応違うかもしれないんですけども、先生側のほうからも、ミマホルメのほうがチラシを全員に配るよりもいいんじゃないかと御提案いただいた学校もございまして、三羽委員からこの間御提案いただいたので、それで学校のほうに相談しています。

○高橋副部長

私はそのアプリを使わないのでよく分からないんですけど。

○武守委員

子どもさんがいる御家庭は、それである程度いけると思います。

○高橋副部長

いけるというか、このミマホルメという名前が、多分、見守る、子どもの見守りから多分来てるのかなとちょっと思ってるので、その趣旨としてインストールしてって、違うのが出てきたらどうなのか。

○武守委員

ですから子どもさんがいらっしゃらないところは、このアプリを入れることができない。

○高橋副部長

それは理解できますけど、そんなつもりで入れてないのに、こんなもん流れてきて、あんなもんも流れてきたよって、余計なもん流すなよみたいな、保護者が出てきたときに。趣旨が違っちゃったら。

○三羽委員

保護者も、学校側もどこまでの情報を出すか分かってないんで。でもこれは学校で使いますし、地域の人案内もあるじゃないですか。それも、おっしゃられたように、

断る理由が逆になんちゃうかなと思ってるので、でも、率先して載せますよ、載せますよというの、まだ1年なんでね、導入して。どこまで活用していいか、多分学校もまだ分かってないんじゃないですか。

○武守委員

あと権限ですね。誰がこの権限を持ってるか、役所のほうからいえば、先生がうんと言わないといけないかどうかですね。トップダウンなことか。学校での判断になるのか。

○幡多区長

それは学校の判断ですね。

○武守委員

学校からうんと言ってくれないと、それは流すことができない。

○木村委員

学校協議会に出て言われてたのは、遅れるんやったら遅れるという連絡をみんな一斉に電話しはんねんな。だから、学校の電話は1回線とかしかないというて、出られなくて、話し中ばかりになって、全然連絡取れないということがものすごく多いです。

僕が、校長さんにこのごろ1回線で2つされることがする方法がありますよとか言うてるんやけども、それでも1回線が2回線になるだけで、それから遅刻するとか、病気やとかいうのが一斉に朝電話してきたら、対応できないですよ。だからこういうアプリができて、電話が通じないときには、ミマモルメで送ればええということになってるんじゃないかというふうに思ってます。

○三羽委員

そうです。

○木村委員

先生から言うのも子どもの家とか、子どもが連絡取れなかったときには、電話しても通じなかったらどないしようもないけど、これで送つといたら、後で見てないでは

通らないということになるんで、どちらも役に立ってるのかなと、さっき話もあったプリントは見ないというけど、プリントは見ても、どっかなくしてしまうんです。これずっとあるから何回も見れるじゃないですか、そういうところがメリットじゃないかというふうに思いますけども。

○武守委員

子どもさんのいらっしゃる御家庭はそれである程度、周知はできると思いますね。それが小学校なら小学校、中学校はまた別のものなのか、高校はまた別のものなのか分かりません。

○木村委員

避難所開設も小学校でやってますからね。小学校でできればそれはそれで。

○幡多区長

ミマホルメを実際にお使いになっておられる方は、こういう避難所訓練、防災訓練などの行事に関して、学校にお願いをしてミマホルメを通じて、保護者の皆さんにお届けするのはいいことだと、ぜひそれをやるべきだと思いますか。

○三羽委員

はい、思ってます。

○幡多区長

もし、一方で、というようなほかの御意見があれば、いただきたいです。このテーマに限らず、何でも議論していただいたほうがよいと思っていますので。

○柏村委員

難波元町小学校ですけども、ミマホルメで情報発信、既にPTAの情報とかいうのも流してもらうようにはなってます、今のところ、何でこんなに使ってんねんていうことを言われたという話は聞いたことがないです。

○松原市民協働課長

区役所としては、そちらの危惧もしてはいたんです。やっぱりいろんな保護者の方

いらっしゃるので、学校からの連絡なのに、区役所からの、地域からの連絡が何でこの通知で来るんだっておっしゃる方がいるのもあるかなと。

○武守委員

学校でやることなんで、学校でやることであるならば、特にそんなに外れてる感じはないんですけどね。

○幡多区長

子どもたちの命に関わってくることなので、そういう訓練に参加していただくことも大事だと思います。

○柏村委員

避難所開設訓練って難波元町小学校でしたんですけど、当日物すごい雨やったっていうのもあるんですけど、結局町会の人らしか来てないぐらいの状態になってまして、もうすっかすかやったんです。やっぱ、町会の人らだけ集まって、みんな大体避難所がどうやって開設されてるか分かってると思うんで、それ以外のね、保護者の、町会に加入されてない保護者の方とかお子さんに来てもらって、避難所って区役所がやるんじゃないんだっていうのを認識してもらえたらなと思いますね。

○幡多区長

ありがとうございます。

○交野部会長

時間のほうよろしいですか。

○柴川企画調整担当課長

時間ちょっと長めで取りますので、一応20時15分前には本会議にというイメージですけれども。

○高橋副部会長

周知方法の工夫、アイデア。

○武守委員

今の小学校の皆さんには、ある程度それでいけると。

○高橋副部長

浪速区は小学校6校あるんですね。今の話を聞いていると恐らく栄小学校、大國小学校、敷津小学校、難波元町小学校の4校は成立しますが、塩草立葉小学校と浪速小学校に限ったら複数の地域にまたがるんで、今の話は成立しないのかなって思います。

例えば、塩草地域の訓練は塩草立葉小学校でしてますか。

○幡多区長

難波中学校です。

○高橋副部長

立葉地域は、もと立葉小学校でやってますか。塩草立葉小学校でやってますか。

○幡多区長

もと立葉小学校です。

○高橋副部長

そうすると、2つの小学校が成立しないですね。その話は。

○松原市民協働課長

日本橋小中一貫校でのミマモルメでの発信分については、浪速小学校校区の防災訓練の日程が日本橋地域と日東地域は同日、恵美地域も新世界地域も防災訓練の日程が決まっており、日がそんなに離れているわけでもないですので4地域の日程を入れた形で4地域の分を一斉にお知らせいただくという、御連絡をお願いしたいと考えているところなんです。

立葉地域は、もと立葉小学校での訓練はもう既に終わってるんですけども、塩草地域はこれからですので、もし調整が可能であれば、一応、塩草地域の訓練の日程だけをお伝えはする。メールに塩草地域の訓練として行います、と記載をさせていただければ、保護者の方も御理解いただけるかなと思います。仮に立葉地域の人たちが来ていただいても、参考にはなるというところもあります。まだそれはこれからの工夫

次第なんですけれども、対応可能かなというふうに考えているところです。

○武守委員

訓練なんで別に何かよそ者が来るなみたいなね、感じのことはないと思うので。訓練ですからどなたでも参加していただいて、集まっていただくほうがいいと思いますね。

○森委員

議論からずれるかもわからないですけど、日本橋地域も今度、避難所開設訓練 2 回目、11月11日に行うんですけれど、私は開設するほうの手伝いに動員されてるんですけど、この訓練に一般の参加者が来たら、受付してもらうとかは聞いてるんです。その後、一般の参加者はどういうことをするんですか。

○松原市民協働課長

今回11日はちょっと4地域重なってますので難しいんですが、1地域だけで防災訓練とかをされる際は、事業内容のところに若干書かせていただいているんですけども、一般の参加者につきましては、避難所っていうのはこういうところだっていうことと、地域の自主防災組織の皆さんがこういう動きをされているということを実際見ていただくのと併せまして、防災講座ということで、一般的な基本的な防災知識ですとか、自宅でできる備えのところとかをスライドも使いながら、講座を聞いていただいたりですとか、消防署に御協力いただいて、煙テントを持ってきていただいたりとか、水消火器の操作訓練みたいな体験をしていただいています。また、救護室になる避難所の部屋があるかと思うんですけれども、そこで一般的な応急手当の講座に実際に体験もしていただけるような感じであるとか、自由に見ていただきたいなというふうに思っています。

○森委員

前回の訓練では最後に炊いた御飯をもらったり。何かグッズをもらいました。日本橋はあまり子どもがいない地域で、小学校が合併するぐらいだから、お年寄りの方が

すごく多かったんですけど、子どもさんがもしマンションとかにいて来てくれるんやとしたら、来たときに、何もすることなかったらって、この間は消防車とか出てるなと思ったけど、この人ら何をするのかなと私ら分からんままに初めてのことやったんで、自分のことやんのに精いっぱいやから。

○松原市民協働課長

そのときは水消火器を動かして、的を倒していただいたりとか。

○森委員

あんまりそういうのやってる様子もなかったんですよ。

○木村委員

今度の11月11日は何か所も一遍に訓練しますからね。

○松原市民協働課長

そうなんです。消防署も対応が。

○木村委員

小学校1校ずつやったらできますけど。

○松原市民協働課長

ですから、今回はどちらかというと、リアルな訓練をちょっと体験していただく。

○木村委員

スタッフの役割分担を決めるのも、意識してもらおうということぐらいの認識で。

○森委員

昨日ワークショップをやって、具体的な内容を聞いて、やっとちょっと具体的になってきたかなという。まだ2回目やから、勝手が分からない。

○高橋副部長

資料確認したいんですけど、今の話してることってこの資料6の経営課題1ですか。

○松原市民協働課長

はいそうです。

○高橋副部長

令和5年の右上で予算額が1,000万超しますよね。

1,100万、1,100万ときて、1,000万です。100万の差って。

令和5年度は100万下げてるんですね。

○松原市民協働課長

ほぼ現状維持なんですけど、防災は基本ほぼ下げてないの。

○高橋副部長

資料8やね。資料8の内訳あった。

失礼しました。防災対策事業に対しては現状維持ですね。

○幡多区長

令和6年度は現状維持でやっていきます。

○高橋副部長

下がってるけど内容がちょっと違いますね、これ。

防犯カメラか何かで下がったのかな。

○松原市民協働課長

防災はあまり変えてないです。予算は現状維持で。

○高橋副部長

現状維持のまま行ってるのかなと思って、これ下がってたらね。増やしましょうよと言おうかなと思ってたんですけど、下がってなさそうなので。

○柴川企画調整担当課長

経営課題1のテーマの防犯も入ってますんで、その兼ね合いかと思います。

○木村委員

テーマが広過ぎてね。どこを軸にしたらええか、先ほども質問あったけど、分からへんところが多いんです。これと絞って言うてもらったら、みんな意見あるんやろうけども、全体的に防災訓練どうですかと言われてたら、まあまあ。

○高橋副部長

消火器の訓練も大体やってるんじゃないですか。ここ書いてることって。

○松原市民協働課長

そうなんです。なので、もうちょっと何か別のアイデアがあるかなということ。

○高橋副部長

武守委員からの、ほかのイベントと抱き合わせて、防災と運動会とか、そういうのはないので。

○木村委員

難元小学校でいつもやってる運動会、あのときに、今まではずっと町会対抗で戦ったんですけども、だんだん町会対抗に出る人が減ってきて、もう今年から紅白という形にしなきゃあないなと。

やっぱり、今、言っておられた、運動会と防災を束ねたらどうやというような話も出てましたけど。実際にこの間、運動会をやってみて、ちょっと時間的に難しいですね。

○柏村委員

種目を減らして、運動会のボリュームを減らして防災訓練をしましょかっていうことも意見が出てて、それもいい考えやとして話はあったんですけど、今年は急に難しいとなりました。

○武守委員

西区がどんなことをやってるのか、テレビの番組でしかタイトルしか出てなかったんで、内容まで分からないですね。

○松原市民協働課長

西区は区民まつりの一環として、多分実施されてるので。

○高橋副部長

西区は祭り多いですよ。3回やりますからね。

区民まつりと、今度防災のと、もう1個やりますよね。

○松原市民協働課長

今ちょっと2回になってるみたい。

○高橋副部長

同じやつが3つある。大変ですもんね。

○武守委員

だからやっぱり楽しいイベントと一緒にすると、参加する方も参加しやすいのかなと思いますけどね。

一番はやっぱり周知して、たくさんの方に参加していただくのが目的であるから。集まってるところでやらせていただくのも一つかなと思いますね。

○柏村委員

11月11日の訓練って、何かポスターか何かあったんでしたっけ。

○松原市民協働課長

地域のほうには、小さなポスターを掲示いただいくようにお届けはさせていただいています。それと、学校にも、子どもさんに持って帰っていただけるようにチラシを渡してます。

それと同じような、拡大したものを貼っていただけるようにってことで、地活協を通じてお願いをさせていただいてると思います。

○森委員

チラシだけでは人は集まらないかなと。実際に誰かが行って、何かのところで声を発するとかしたほうが。本当に来てもらいたいと。何もかも見てないとは言わないが、例えば、食事サービス、ふれあい喫茶、100歳歳体操の会場などに行って、声で出してくれるほうが伝わると思う。

○幡多区長

いろんな行事に出向かせていただいて、こういうことがありますからぜひ来てくだ

さいといった声かけですね。

○高橋副部長

子育て世代層にはミマモルメ、物すごい効果的だと思いますね。そうじゃない層は、先ほどおっしゃったように、その食事サービスとか、ふれあい喫茶とか、百歳体操とかで声かけした方がいいでしょうね

○松原市民協働課長

声かけいただいていると思うので、区役所と併せて自主防災組織さんのほうからいろいろ周知をいただいている中で、やっぱり食事サービスとかに関わっていただいているスタッフの皆さんとかもいらっしゃいますので、そこ通じて、今度こういうのがあるから来てねみたいな、直接のお声かけとかはいただいているかとは思っています。

○高橋副部長

各地域に防災リーダーという役職ありますからね。必ず名簿ありますからね、区役所に。防災リーダー、制服もヘルメットも完全防備の方がいるので、そこが全部くっつけば、何かちょっと塊になる大きなイベントがあれば、先ほどの武守委員がいう、お年寄りも、就学している子育て世代も、情報が伝わるんですかね。でも地域で住まれているけど、子育て世代でない方とか、若い方ですかね。町会に入っていないという方には情報が伝わらないですね。

○幡多区長

そこにどうやって情報を届けていいのか分からない。

○森委員

マンションによってはポスターを貼らせてほしいと言っても、拒否するマンションもあります。入り口の掲示板とかでも貼らないでくださいと言うところがあると聞いたんで。そういう場合はどうしたらいいか。

○高橋副部長

その後回しにしといて、とりあえずやれるところを詰めて、くっつけていく。

○幡多区長

区役所も頑張りますけど、地域でも避難所開設訓練やそのワークショップをしていただいています。大きな地震が起きました、家具がばたばた倒れました、住めなくなりました、ということになると、皆さんは避難所に来られるのですが、そうではなく、きちんと家具の固定をして、家で避難していただくのが一番いいんですよね。地域のスタッフの皆さんが、同じ地域住民の方に、避難所開設訓練があるよ、防災講座をそこでやるよ、きちんと知識を身につけてねといった声かけをしてくださるとありがたいと思っています。例えば、食事サービスを運営されている地域の方が参加者に声かけをしてくださると、情報が行き渡ると思うし、マンションにポスターを貼らせていただく。そうすると情報は広がっていくと思うんですね。

区役所にやれと言われてもマンパワーに限りがあるので、そうしたことを地域にお願いをしていきたいんですけど、どう思いますか。

○森委員

この間の食事サービスのときは、町会長さんが今度防災訓練がありますとかいろいろな行事がありますとか話をしてはりました。

○幡多区長

非常にありがたいです。

○森委員

マンションが多いから、掲示板があかんとかいろいろあるし、掲示板に掲示したって参加しない住人もいるやろし。

○幡多区長

情報を知っていてもあえて参加しない人はどうしようもないですけど、情報を知らなかったというのは、すごく残念なことだと思うので、できるだけ、ちゃんと情報をお届けしたいんですよね。ただ、その手段が限られているのが本当に歯がゆい。

○木村委員

多分大きなマンションの人は、新しいマンションだったら耐震があるから心配してないんでしょう。別に避難場所なんかに行かなくても自分の家におったら安心やから。学校より自分の家のほうが建物が丈夫やったら学校に行く必要がないというふうに考えている人多いです。

○幡多区長

きっとそうなんでしょうね。

○木村委員

だからそれやったら、家におって、ある程度、食べ物があって、水は別に1週間ぐらいたてば普通に使えるようになりますから、しのげると思ったら、出ていくということに全く関心がなくなって、自分が助かることよりも人を助けることも大事やということには多分気がついてはらへんと思いますけど。

○幡多区長

十分な備蓄をしていただいて籠城できるのならそれでいいと思うんですけども、足りなくなったら避難所にもらいに行くとか、電気が来なければ、たちまちスマホの充電ができません、テレビもつきません、という状態になります。行政は避難所に情報を持っていきますんで、皆さんも避難所に情報を取りにきていただくことになるんですね。いくら頑丈なすばらしいマンションに住んでいても、なかなか御自身で完結はできないのではないかなと思います。

○木村委員

マンションはしっかりしてても、電柱が倒れたりしたら電気来ませんもんね。

○幡多区長

そうですね、やっぱり電気の問題は大きいと思います。そういうことをお伝えできる機会が、たくさんあるといいなと思うんです。

○交野部会長

ほかにどうでしょうか。御意見ございませんでしょうか。

今、主に周知に関してお話しいただきましたけども、それ以外でも何かお気づきの点等ありましたら、議論を重ねたいなというふうに、時間まで議論にかかりたいと思っておりますけども、ほかの御意見はありますか。

○木村委員

いつも地震を想定した訓練ばかりなんですよ。津波が来たときにどうするかという訓練はしたことがないんです。消防署長さんに話を前に聞いたら、元町辺りやったら、最大の津波が来たら2階の床から上30センチぐらいしか来ない。日本橋とか東行けばもっと浅いですよ。西のほうに行けばもっと深いんですけども、そやからその辺におる人は、津波の心配は、2階以上の建物やったら溺れることはないという、家の中におってもね。2階以上であれば、もちろん濡れるから、2階におったら3階に行かなあかんわけです。地震のときは、ああしようこうしよう結構やってますけど、津波は全然やってないですよ。地震も津波もいつか来るかもしれんし、地震が起これたら津波も同時に来るかもということもあったりするんで、たまには津波を想定したことをやってもいいと思います。もちろん津波が来たら避難所はつくれませんよ。学校行かれへんねんからね。泳いできませんから。その場合は、避難所をつくらずに、先ほど区長が言われたように、備蓄のほうで食べていかなあかんということを皆さんにどう周知するかということを考えといたほうがいいかなというふうに思います。

○幡多区長

今まで、垂直避難の訓練をしたことないですか。

○木村委員

ないですね。

○木村委員

地域によっては津波避難ビルとして届けてるところありますから。何かあったら勝手に上がってきてねというように、ビルの所有者に許可もらってる。

○柏村委員

1回、町会ではやりました。津波避難ビルに登録してるビルに、まず一遍みんなで逃げて、水はある程度ひいたであろうと。そのときは20分ぐらいで津波がひく想定でやったんですけど、公園にみんな集合して。講習を受けるみたいな。大分前ですけど、やりましたよ。津波避難ビルがどこにあんのか、町会の人らに知っというてもらおうということ。

○幡多区長

東日本大震災が起きた後に、私は港区役所にいたんですけど、港区は湾岸区なので、津波は本当に怖いんですよ。なので、まずやったのは津波避難訓練で、3階以上の建物に上がる訓練をどこの地域でもしていただいていたいました。でも浪速区は東半分は浸水しませんので、そういう訓練ができてないのかもしれないですね。

ここはどれぐらいの高さで浸水するっていうことは、皆さんには分かっておいていただきたいですよ。

堤防の工事も進んできているので、今後、浸水想定が変わってくる可能性はあるんです。願わくば、浸水想定区域が浪速区にまで来なくなってくれたらいいと思っていますんですけど、その想定が出るのはまだ先なので、今は最悪のケースを想定して、皆さんにしっかりとそういうことを知っていただきたいと思っています。

○高橋副部長

もしという話なんで、難しいですよ。明日かもしれないし、時間帯がお昼っていうもの、ウィークデーのお昼っていうものだと、車椅子の方とか、何かあったときは、地域には頼れるのが中学生しかいないということで、お昼の3時、4時じゃ大人は仕事に行っていて、家にいないということも確率的なものでありますね。

高齢者がいたとして、中学生が寄って車椅子を運ぶというのを、PTAの行事の中で中学生に訓練をさせるっていう取組を当時、日本橋、木津、難波中学校で訓練をやってましたけど。そういう訓練がありますよね。そのときには、中学生も一緒に倒れたがれきを起こすとかっていうのも訓練で避難だけではなく、中学生はそういっ

た活動をするという防災訓練してました。平日のお昼間は中学生しかいないんですよ。そういう協定を結んでますよね。

夜なら地域の人はいらっしゃるという位置づけです。ウィークデーの昼に動ける方っていうのがいないから、手伝いをしてほしい。ということなんですけどね。

○松原市民協働課長

避難所の協定は結んでいます。学生さんに手伝っていただくっていう訓練は中学校では確かに、今は2中学校しかできてないんですけど、同じように車椅子とか、実際に3階まで車椅子を運んでもらうという、津波の避難訓練とかも。

○高橋副部長

平日のお昼に災害が発生したら、地域の若い子13歳、14歳、15歳に頼るしかないから。

○松原市民協働課長

校長先生も御挨拶で、何かあったときには自分たちが一番力になるっていうふうに、おっしゃってくださってます。

○高橋副部長

防災訓練は中学校で行ってないですか。

○木村委員

木津中で前やってた。

○高橋副部長

そうなんです、難波中学校、木津中学校、日本橋中学校。小学校では防災訓練しないんですよね。

小学生は防災訓練より避難訓練で隠れろとか、机の下にとか、並びなさいとか、運動場出なさいとか、順番に押さないとかですので、中学生のPTAの防災訓練とちょっと違うんですよね。消火とか、何かで担架を作れとかそういった内容でした。今でもやってはるのかな。

○松原市民協働課長

今は、やってます。コロナ前は、中学生と地域さんも一緒になっての訓練をされたということなんですけど、コロナの間できなくて、去年から難波中学校と木津中学校なんですけど、中学生だけの訓練にはなるんですけども、消防さん来ていただいて、車椅子を運ぶとか、AEDの訓練であったり、応急担架とか、救命救急であるもので、三角巾を作るやり方とか。

そういう講習もやったりで、一番最後に津波が来たときを想定して、車椅子の方とかも3階まで全員が避難するという津波避難訓練を今年も去年も、中学生にはやっていただきました。

○高橋副部長

コロナも明けたことなので、コロナ前にやったことはやり戻す。新しいことやるんじゃないくして。やってきたものは、置いてきぼりに忘れ去られることなく、復活してという言い方が正しいか分かりませんけど。

○松原市民協働課課長

徐々にやるように、去年から再開するようになっています。

○高橋副部長

区役所のできること、自主防災組織がするということと、ちょっと分けたとしたら、役所のほうからこうしていただけるか、決めるのは学校長かも知れませんが。

○木村委員

コロナでいろんなことが全部止まってしまってるんですよ。例えば、今まで我々、あそこの難波のJR駅のところに集まってやってた迷惑駐輪やめようという啓発活動も、ずっと毎年してたけど、コロナで止まった後、全然再開してません。

難波駅前だけじゃなくて、桜川とかいろんなところに迷惑駐輪がたくさんあるんですけどね。毎年2回ぐらい会議があったんですけども、会議についてもコロナ以降全く開催されてません。

迷惑駐輪の啓発活動もそうやけども、やっぱり楽をしてしまうと、復活しにくいところもある。というのは、携われる方大変ですからね、いろんな方に声かけしてもらわなあかんわけやし、我々はいつもＪＲＡのところ行って、ティッシュ配ったり、自転車に駐輪やめようと紙をつけることもやってましたけども。

11月1日からテレビでもちょっと報道されてますけど、なんさん通りよりも北側で、長堀通りより南側、御堂筋より東で、堺筋より西という地域が、駐輪即時撤去地域になったんですよ。もともとそうやったんですけども、昔、自動車でもチョーク引いて、何時何分て書いて、10分たってからしか違反駐車、今、グリーンのおっちゃん来てぴっと貼ってるでしょ。自転車も今までは、大阪市の規定で、赤い札をつけて30分待たんと撤去できなかった。それが即時撤去できるというルールを見直して、11月1日からもうなんさん通りの北のところ全部、中央区のなんさん通りから北側、全部即時撤去、恐らく1週間続けてやると思います。だから、駐輪も結構いろいろ消防車が入れなかったりとかいう迷惑になる、めちゃくちゃな駐輪がたくさんあるんです。こんなようけあるんかというような自転車があつたりするんで、そこはほとんど中央区で、浪速区のちょびっとだけありますけども、やっぱり浪速区としても、駐輪即時撤去地域大分広げてますよね。広げてるところは即時撤去という名前やけど、撤去されたことがないという名前だけ即時撤去なってるんですね。ただ、今まだ実験的にやって、それがよければ全部広げようという話になってるんですけども、何分遅れないように、何とか中央区がやってるなら浪速区に広げてよということ、評判がよければね。随分自転車が減って助かりましたということになれば。きっかけは難波広場とかができるから、あそこら辺駐輪だらけなんですよ。きれいになって、みんなが広場としてうろうろするようになったときに、自転車があつたら困るということが、もともとの発端やと思いますけども、全部即時撤去地域に実際に実験的にやるということになりますので、浪速区も遅れないようにしていきたいと思います。

○交野部会長

すみません。ありがとうございました。

大変、熱い議論ができたと思っております。

時間のほうちょっと申し訳ございません。迫っておりますので、次の資料10の3番のところで、令和6年度浪速区運営方針（素案）及び区関連予算について、こちらについて御意見等また進めていただきたいと思いますけれども、主な意見に対する回答内容、運営方針、それと令和6年度の予算の方向性について、御意見またお聞きしたいなというふうに思っております。

○柴川企画調整担当課長

あと5分ほどで全体会が再開ですので一言で言うていただけることがありましたら。

○交野部会長

先ほど、予算のところでもお話、防災の関係の予算のところ話あったと思うんですけども、資料のほうで出ておる部分もありますので、それ見ていただければ具体的な予算も出ておりますので、何がどういった形で維持されて、削減されてるかというような出てる部分もあると思われまうんですけども。

○柴川企画調整担当課長

資料の7になります。

資料の7は、これからいろいろ御意見頂戴して、我々のほうで修正の作業に入らせていただいて、次回の区政会議の際に、どこがどう変わったかとかいうようなことは、説明させていただくことになります。

○交野部会長

私の進め方で、時間が迫ってしまって、大変申し訳ございませんでした。

それでは、これで時間も来たということですので、本日の安全安心なまち部会の議事を終了したいと思います。

皆様におきましては、大変熱い議論で進行できたと思っておりますので、この後は、事務局のほうで、よろしくお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。

○柴川企画調整担当課長

部会長どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第1回の安全安心なまち部会、閉会といたします。

20時15分から全体会を再開いたしますので、先ほどの席のほうにお戻りいただけるようお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

—了—